

真人の風

第40号(不定期)
(令和4年7月25日)
(全戸配布)

地域づくり40号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel: 86-3002

真人里地区農村将来計画 今年度の活動方針

現地確認と活動支援行つ



真人里地区農村将来計画策定事業の2年目を迎え、6月30日(木)に策定会議を開催し、今年度の活動内容について検討を進め「農業の維持」と「地域づくり」の二本立てで取組を進めることとし、住民の意見徴集のワークショップや実施可能な案件などの移動支援、地域拠点などでの



【専門家講師による支援(相談会)】
新潟県農林水産部のピレシップラン実践事業の支援とし、7月6日(水)の午後から一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所の藤山浩所長と新潟県農林水産部地域農政推進課中山間地域活性化推進係の担当者



克雪管理センター前で現状説明

真人里地区での移動支援等について考えていますが、南部地区でも急速な人口減少が進み、岩沢の大崩地区や川井地区では路線バスが廃止となつて、乗合タクシーが運行されています。真人里地区の枠を超えた交通手段、移動支援等についても



旧真人保育園での現状確認

また、昨年度末で閉園となった真人保育園について、地域の拠点施設としての活用を前提に施設の現状確認を行いました。立地条件も良く、耐震化の建物は平屋建てで部屋数も多く、給食室も備えており色んな活用が考えられます。今後、住民皆様の考えやアイデアをお寄せいただきたいと思います。

【真人里地の10年後の姿】

3月に行ったワークショップの齊藤講師並びに今回の相談会の藤山講師共に、「小さな実験をし、失敗したらそこから学ぶこと」について助言を頂きました。一発勝負でなく、近い将来具体的にできそうなことについての実証実験等を策定委員会へ提案し、検討しながらこれから進めていきたいと考えています。皆様からのご意見やご協力について、今後よろしくお願ひします。

生活交通先進地視察

コミュニティバス

東山地区の路線バス「塩谷線」では、今年度から土日の運行が廃止となりました。既に旧山古志村では路線バスの廃止が行われており、今後の平日運行も危ぶまれるようになってきています。

そこで、東山振興協議会と市の観光交流課では、類似の先進地の視察をすることとなり、市の生活支援体制整備事業支え合い事業のコーディネーターの参加も募り視察が行われ、瀧澤振興協議会長もコーディネーターとして参加してきました。

生活支援体制整備事業

コーディネーター 瀧澤 功

近年少子高齢化により、路線バスの廃止が各地で多くなっています。真人では県道(小千谷十日町津南線)に本数は十分と言えなくとも通勤や通学、移動手段として路線バスが運行されています。

真人北部地区や川井地区はすでに乗合タクシーによる移動手段に移行されています。今後、路線バスの存続が困難になるような事態になった場合に、住民の移動手段の確保に向けて検討するための先進地視察に同行いたしました。

長岡市小国町と妙高市新井地区の2地区を見学し説明を受けました。どちらの地区も近年路線バスが廃止され、公共交通手段がなくなってしまうところでした。住民の移動手段の



確保を図るためNPO(特定非営利活動集団)法人を設立しています。これは、運賃を徴収してコミュニティバス等を行う際には「旅客運送業法」で法人格が必要であり、個人任意団体では認可されないためです。

1 小国町では、小国車庫(小千谷へ)、同じく塚山経由長岡への路線バスが2系統ありますが荅野島、三桶方面と芝ノ又、八王子方面及び法末方面向けへのバス路線は廃止になりました。この3方面へNPOがバス(一部タクシー)委託を運行しています。小国町のNPOは地域の農産物販売も事業として展開して多角的に活動しています。今後は空き家対策にも取り組めるようになりたいと考えています。

2 妙高市新井の瑞穂地区は、5町内約90戸の小さな集落がNPOを設立し、住民が一生涯命に取り組んでいて驚くと同時に感心しました。こども、住民の移動手段確保を目的としたものですが、自分たちの困りごとを行政任せにせず自分たちで何とかしようとしています。

いずれの地区でも、住民の利便性を確保するために、地域で検討を重ねて行動し活動しています。真人里地区で今すぐ路線バスの代替手段を目的としたNPOを作ること

はできませんが、これからの高齢集落に起こりうる様々な課題(移動手段も含め)を検討していかねばならないことは誰もが認識しているものと思います。住民全員で考えなくてはならないことです。

特定非営利活動法人みずほつと発足の経緯

H28年3月 第1回設立準備委員会発足

妙高市新井地区

～16回の設立準備委員会～

H29年2月 設立総会開催

H29年6月 特定非営利活動法人みずほつと設立

- H28.5 NPOについての勉強会
- コミバス、廃校活用、NPO設立の3部会を立ち上げ協議
- 各字への説明会開催 など

(目的) 第3条

この法人は、行政と地域住民と協働して、地域づくりに関する各種事業を展開し、地域資源、人的資源の発掘あるいは活用により我が郷土を守り育て、地域で暮らす人々が、安心して、健康で心豊かな生活と、活力ある地域産業を営むために必要な諸事業を行い、以て個性と活力に満ちあふれた地域づくりに寄与することを目的とする。

地域では、地域づくりの事業部会が県の「話し合い促進事業」を活用し、中学生以上全住民アンケートを提案実施、集計・分析後に報告会&意見交換会を経て、市営バスをNPO法人運営のコミュニティバスに転換を行いました。

人口減少や過疎化が進展する中、従来の枠組みでは解決できない「地域の課題」や「きめ細やかな対応」を地域住民が主体となって行う組織作りと、その活動に対する行政支援が行われました。

道路・河川 現地踏査行われる

5月末に小千谷市建設課に要望書を提出していた道路・河川の要望箇所への現地踏査が7月6日(水)の午後から真人里地、芋時、北部地区の順番で行われ、関係町内会長が現地で説明を行い早期の対応を要望しました。結果については後日建設課より報告を受ける予定です。



三年ぶり研修旅行

真人地区町内会長協議会

6月19日～20日に真人地区町内会長協議会で研修旅行を実施いたしました。コロナの影響で昨年、一昨年と中止せざるを得ませんでしたが、今年は十分注意をしながら山形方面へ一泊二日の日程で行きました。

新発田の自衛隊白壁兵舎には、災害時の自衛隊の活動や過去の様々な

資料が展示されていて、誰もが一度はご覧になってみる価値があると思います。

日頃は町内活動や地域への貢献で難儀をかけていますが、なかなかじっくりと顔を合わせて親睦を図る機会がありませんが、今回は町内会長同士の親睦も深まり、大変有意義なひと時となったものと思います。(真人地区町内会長協議会会長 瀧澤)

新発田市自衛隊白壁兵舎資料館



真人神社
再建百周年

3 すべての人に健康と福祉を

【お知らせ】

真人神社 再建百周年事業

大正12年10月31日に挙行された上棟式から数えて、真人神社は本年めでたく神社再建より節目の百年を迎えることになりました。

この間、昭和大恐慌、太平洋戦争、度重なる豪雪や昭和39年の新潟地震・平成16年の新潟県中越地震といった自然災害、近年では新型コロナウイルス感染症なども発生しておりますが、いつも私達の心のよりどころとして今日まで守り続けてまいりました。

神社信仰とは毎日の感謝を神様に伝えるところであり、地域に住む私たちの安心や安全祈願など日本の文化として根付いており、百年という時間の流れの中で沢山の人が行きかう村の中心に本社殿が歴史の番人として地域を見守り現在に至っております。

今年、節目の百年にあたり五穀豊穣・無病息災、そして今までの感謝の気持ちを含め記念事業を執り行うことといたしました。

発起人代表 藤巻克久
本村町内会長 大窪伊作

日時 令和4年8月27日(土)

午後1時15分より奉納事業

(午後2時50分終了予定)

場所 真人神社境内(雨天決行)
奉納事業者 新湯楽所様
(雅楽演奏団体)

4回目

新型コロナウイルス ワクチン接種

国の方針に基づき4回目のワクチン接種対象者に順次接種券が郵送されていますが、真人地区の接種会場とし、8月16日(火)と26日(金)に真人ふれあい交流館が地域出張接種会場となっています。ご案内が当該場となっている方は指定の日時を確認して接種を行ってください。

なお、年齢等により予約申し込みとなる方もありますので市のホームページ等でそれぞれ確認ください。また、変更やキャンセルは小千谷市コロナワクチン予約センターへ問合せください。

☎0258-8615266

【編集後記】

新型コロナウイルス感染症が感染の第7波として増加傾向です。小千谷方面から向かってくると「めいごい広場」のお猿さんも感染症対策でマスクの掛け直しと熱中症対策で帽子をかぶりました。

イベントや行事の再開も始まっています。感染症対策、熱中症対策に気を付けて健康で過ごしましょう。(渡邊)

